



エンジンの担当者の説明を受け、話し合う生徒
＝浜松市北区の浜松湖北高

高校生の視点で企業紹介

浜松湖北高 エンジンと企画始動

浜松市北区の浜松湖北高商業科3年生30人と同市中区の総合エネルギー会社「エンジン」が協力し、地元の中小企業を取材して魅力を発信する授業がこのほど、同校で始動した。

記事を作成し、ブログなどで紹介する。

初回授業では、同社

営業企画部の佐藤真菜

さん(23)が会社紹介や

取り組みでいる地域貢献

活動を紹介した。

「(授業を通じて)企業

の魅力を知り、地元

への愛着を深めてほしい」と話した。生徒は

5グループに分かれ、

高校生にできることに

ついて話し合った。

今後は製造業、販売

業など市内約20社を訪

問し、取材活動に臨む。

介護職に興味を持つ久

保亮子さん(17)は「高

校生が関わることがな

い人にも届く記事を書

きたい」と意気込みを

語った。授業は、生徒

自身のスキルアップや

若者の人口流出防止、

Uターン推進などを目

的に2016年度から

実施している。

(細江支局・大石真聖)